

マウスを用いる急性経口毒性試験

要 約

ノロックス(調整次亜塩素酸水)有効塩素濃度 200mg/L(ppm) pH6.0 25℃を検体として、マウスを用いる急性経口毒性試験(限度試験)を行った。

20 mL/kgの用量の検体を雌雄マウスに単回経口投与し、14日間観察を行った。その結果、観察期間中に異常及び死亡例は認められなかった。

以上のことから、マウスを用いる単回経口投与において、検体のLD50値は、雌雄ともに20 mL/kgを超えるものと評価された。